

金沢大学における情報化の方向性について IT化グランドデザイン策定プロジェクトの実現に向けて

金沢大学 IT化グランドデザイン策定プロジェクト推進チーム
 キャンパス・インテリジェント化整備計画 WG 座長 山崎 光悦
 情報部情報企画課 木下 聡
 鍛冶 勝太郎
 橋 洋平

1. はじめに

金沢大学のキャンパス・インテリジェント化整備は、平成12年12月に策定された「キャンパス・インテリジェント化実施計画に関する具体的提案」をベースに、途中何回かの見直しを経て、その実現に向け、関係方面の弛まぬ努力が続けられてきました。法人化後は、金沢大学特別整備事業として一定の予算が措置され、計画的なIT活用のための環境整備が進められてきています。しかし、バイブルとしてきた平成12年に策定された実施計画の多くが実現する運びとなり、また学生のパソコン必携化の開始やe-Learningを活用した教育の実践など全国的にみても先導的な教育改革の取り組みなど、本学をとりまく環境は激変しています。そこで平成18年度、金沢大学IT化グランドデザイン策定プロジェクト推進チームでは、今後の金沢大学における情報化整備の中長期的な方針を再定義するIT化グランドデザイン策定のための調査を行いました。今年度は、その結果を実行に移すために、各企画会議で調査内容についての説明を行って参りました。本稿では、当該プロジェクト実施の経緯と概要を紹介し、本学における今後の情報化の方向性について展望します。

キャンパス・インテリジェント化とは

金沢大学の教育研究の高度化、事務処理の効率化を図るために情報企画会議の下で実施しているキャンパスの情報化に関する環境整備事業です。

平成17年度以降、金沢大学特別整備事業として予算化され、情報企画会議で「キャンパス・インテリジェント化（情報基盤・システム開発）整備年次計画」を立案し、それを毎年見直しながら事業を推進しています。

当該年度に事業を推進する事業については、各部局等から申請された個別計画についてキャンパス・インテリジェント化実施計画ワーキング・グループでヒアリングを行った上で検討を行い、情報企画会議の承認の下、実行に移しています。

(参考)

以下のページで今回のプロジェクトの報告書類及び今年度、各企画会議で説明した資料等を掲載しています。
http://intelligent.w3.kanazawa-u.ac.jp/it_grand_design/index.html
 (金沢大学公式ホームページ>在学生/卒業生/教職員>教職員の皆さんへ>キャンパスインテリジェント化)
 また、金沢大学特別整備事業によって実施した情報化整備事業の内容についても上記のサイト(学内限定)で紹介しています。

2. IT化グランドデザインとは？

IT化グランドデザインとは、これからの本学における情報化整備のミッションの再定義を行い、「金沢大学総合データベース」の開発指針とするためのIT化施策についての提言です。この提言を策定するために、平成18年度にキャンパス・インテリジェント化整備計画ワーキンググループ(情報企画会議配下)が中心となり、以下のような目的・方針・ビジョンに基づいて調査を行いました。

【目的】 本学における教育・研究・事務の仕組みの実態を調査・検討し、本来あるべき姿を実現するための手段としてのIT投資への戦略的評価を実施すること

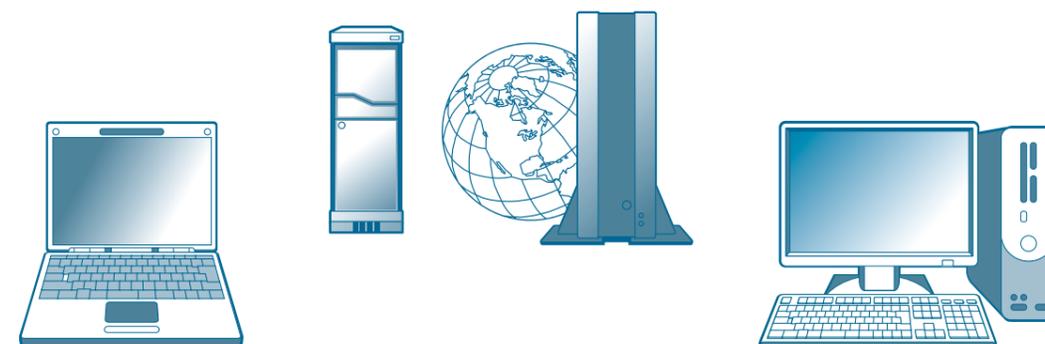
【方針】 中期計画に基づいて中期情報化計画を策定し、第一次情報化構想にブレークダウンするためのグランドデザインを策定すること

【情報化ビジョン】 以下の5つのテーマに分けて、情報化を推進する。

- 1 教育・・・学生支援（入学前から卒業後までの一貫した情報化整備）
- 2 研究・・・学際・学融共同研究支援（研究環境の高度情報化整備）
- 3 学術情報・・・学術情報統合化支援（学術情報の一元化と情報サービス環境の整備）
- 4 事務・・・事務プロセスの効率化と高度化支援（情報の標準化・簡素化・一元化）
- 5 経営・・・マネジメント高度化支援（評価指標とマネジメントサイクルの確立）

【情報化のポイント】 以下の3つのポイントから情報化を進める。

- 1 センター（集中）化・・・教育、事務、学術情報
- 2 指標化・・・大学指標、経営管理、人事評価
- 3 可視化・高度化・・・研究プロセス、Project Based Learning, PDCAのマネジメントサイクル



3. プロジェクトの実施体制とスケジュール

このプロジェクトを、以下の体制・スケジュールで実施しました。

【プロジェクト体制】

●金沢大学
 -プロジェクト・オーナー： 橋本 哲哉（副学長・情報担当理事）
 -推進チーム（事務局）（8名）：
 山崎 光悦（事務局長；キャンパス・インテリジェント化整備計画 WG 座長），
 井町 智彦（総合メディア基盤センター助教），
 西岡 和男， 蘆田 典行（以上評価室）， 田邊 喜章（学生部学務課（当時）），
 木下 聡， 鍛冶 勝太郎， 橋 洋平（以上情報部情報企画課）
 -検討・評価チーム（30名）
 運営管理責任者：各部署の課長・副課長から 11 名， キャンパス・インテリジェント化
 整備計画 WG のメンバーから 3 名
 運営管理担当：各部署の総務系係長から 11 名， 各分野の教員 5 名

●富士通グループ
 -総合窓口・・・富士通（株）北陸営業本部，（株）富士通北陸システムズ
 -プロジェクトリーダー・・・藤野 誠（（株）富士通総研取締役）
 -コンサルティング担当・・・コンサルタント 2 名
 -システム調査・評価支援・・・（株）富士通北陸システムズ

【実施スケジュール】

2006 年 10 月 31 日 キックオフミーティング（第 1 回推進プロジェクトチーム会議）
 2006 年 11 月 29 日 集中討議によるワークショップ（第 2 回推進プロジェクトチーム会議）
 2006 年 12 月上旬（12 月 15 日期限）検討評価チームに対するアンケート調査の実施
 2006 年 12 月 20 日 推進チーム（事務局）と富士通総研との打ち合わせ
 2007 年 1 月 25 日 最終報告会（学長，情報担当理事も出席）

4. プロジェクトの結果

4-1 情報化一次展開検討テーマの策定

以上をもとに、今後 2 カ年で優先的に実現すべきテーマとして、以下の 12 の情報化第一次展開優先テーマを策定しました。これは、ワークショップでの調査結果・投票結果を踏まえ、推進チームで全学の中長期的な情報化推進のあるべき方向を検討し、策定したものです。

- | | | | |
|---|-----------|----|------------|
| 1 | 学生募集支援 | 7 | 研究資金獲得戦略 |
| 2 | 学部生学習指導支援 | 8 | 人事情報化整備 |
| 3 | 教育環境支援 | 9 | 諸手続きサービス支援 |
| 4 | F D 活動支援 | 10 | 財務管理高度化支援 |
| 5 | 就職支援 | 11 | 大学経営情報整備 |
| 6 | 学生生活支援 | 12 | ポータルサイトの構築 |

4-2 情報化ニーズ分析

続いて、情報化一次展開検討テーマについて、情報化ニーズを抽出分析しました。さらに目的をより具体的にするために、次の表のとおりサブシステムと業務課題を抽出し、新情報システム体系を提案しました。今年度は、これらの業務課題を順次実現していくために、今後、各担当企画会議で計画を具体化して欲しい旨の説明を行いました。

情報化推進テーマ	目的	情報化ニーズ	サブシステム	業務課題	担当
学生募集支援	・受験者数の増加 ・効果的な募集活動	・受験情報、受験生向けイベント情報、 広報情報等の情報サービス ・様々な社会人、留学生、進学者等の 声の揭示 ・広報戦略室の調査結果の反映	入試広報	全学的な統一募集企画体制	教育企画会議 (学生部)
学習指導支援	・学生の学習意欲向上 ・学力の向上 ・学力差の縮小	・副専攻コース、必要科目の情報提供 ・アドバイス教員への的確な情報提供 ・学生相互の情報交換の促進	学習支援 学生ポートフォリオ	アドバイス教員、カウンセラー の情報リテラシーの向上	教育企画会議 (学生部)
教育環境支援	・教育の効率化 ・学生サービスのレベル向上	・施設予約管理のシステム化 ・出欠管理、レポート管理、アンケート 管理のシステム化 ・オフィスアワーの情報化支援	授業支援 学生生活支援	管理規約の一元化、標準化	教育企画会議 (学生部)
FD活動支援	・授業の改善	・アンケート項目等の情報共有化 ・データの自動集計	学習支援	全学標準化	教育企画会議 (学生部)
就職支援	・就職率の改善 ・事務の効率化	・就職(求人)情報の整備、共有、提供 ・進路状況データの収集、分析支援 ・卒業生情報の活用	就職支援	就職支援体制の強化 教職員の連携強化	教育企画会議 (学生部)
学生生活支援	・学生サービスのレベル向上 ・就学上問題を抱える学生数の 低減	・申請手続きのワンストップサービス化 ・アドバイス教員への的確な情報提供 ・学生、父母のコミュニケーションの促進	学生生活支援 学生ポートフォリオ	アドバイス教員、カウンセラー の情報リテラシーの向上	教育企画会議 (学生部)
研究資金 獲得支援	・研究付帯作業の軽減 ・資金獲得機会の向上	・会計検査院の調書作成の支援 ・公募先検索システムの整備 ・既存データ入力負荷の軽減	研究資金支援	外部ニーズ適合評価	研究国際企画会議 (研究国際部)
人事情報化 整備	・勤務評定の効率化 ・公平な個人評価	・既存データ取込みの重複入力回避 ・就業管理の省力化 ・所在情報の共有化	人事評価 人事給与	評価基準の明確化	総務企画会議 (総務部)
諸手続き サービス 支援	・諸手続の迅速化、効率化	・各種申請、書類提出の電子化 ・発生時点入力 ・兼業手続き ・申請手続きのワンストップサービス化	総務	事務の簡素化 エンバフォーマンス(権限委譲)	総務企画会議 (総務部)
財務管理 高度化支援	・経営改善 ・事務の効率化	・周辺システムとの連携 ・業績管理 ・財務分析	経営管理 財務管理	マネジメントサイクル(PDCA) の確立	財務企画会議 (財務部)
大学経営 情報整備	・教育研究の質的向上 ・評価作業の効率化	・自己点検評価、認証評価、法人評価 ・経営情報を一元化し多角的に活用	大学評価 経営管理	経営情報の一元化、体系化	総務企画会議 (評価室)
ポータル サイトの 構築	・システム運用の効率化 ・情報発信力の向上 ・情報利活用の促進	・全学統一の運用管理 ・教職員と学生のコミュニケーション インフラ機能	ポータル	全学運用基準の整備	教育企画会議(学生部) 情報企画会議(情報部)
情報 インフラ	ネットワークの整備 サーバ機器の整備	学生のパソコン利用を考慮し、基幹・幹線のネットワークを次世代ネットワーク環境に整備し、 セキュリティ対策を向上した基盤を整備する。 複数のシステム(サービス)で共用できるものに関しては、極力共有する。また既存設備を有効活用し、効果的な投資とサーバの管理工数を軽減する。			情報企画会議 (情報部)

5. おわりに

IT 化グランドデザインに基づく情報化整備は、情報通信基盤を整備し新しい情報システムを構築することによって、各種サービスのレベル向上を図り、さらには業務時間の短縮、予算の効率的運用等の教育研究、事務生産性の向上を狙うものです。当プロジェクトの最終報告書では、ビジョンの実現のためには、学生・研究・事務・評価という 4 つの全学支援フレームと全学総合データベースの構築・整備がポイントであるとまとめています。

キャンパス・インテリジェント化実施計画ワーキング・グループでは、今回のプロジェクトを踏まえて各部署、各企画会議等から提案された計画について、全学的な視野から検討を行い、計画の実現に向けた各種事業を支援したいと考えています。